

科目名 (科目番号)	血液検査学実習 (時間割参照)	教員名 山口 孝一	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	2		
	授業形態		実験・実習	オフィスアワー	月曜日5限		
授業概要	血液学的検査法の用手法や機器法の原理、技術を習得する。血液像などの形態学的検査においては、染色法の選択と染色技術の習熟、顕微鏡の操作を習熟し、血球（細胞）のスケッチを行うことで細部まで観察し理解する。また、凝固線溶系検査においては、凝固機序を理解し、適切な検査方法を選択、スクリーニング検査を実施する。最終的には実施した検査結果の解析と評価、そして疾患との関係が説明できるようにする。						
目的・目標	目的:臨床検査技師として血液検査全般に関する検体の取り扱い方、および基礎的な検査技術の取得 目標:①形態学的な検査においては、顕微鏡の操作、細胞の細部構造、染色法の選択等の理解と技術を習得する。 ②凝固線溶系検査においては、凝固機序を理解し、適切な検査方法の選択等の理解と技術を習得する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	血液検査の基本 - 1	到達目標:血液検査の基本である標準採血法を学び、注意事項を遵守し安全管理の下で実施する採血法を理解する。 学習内容:標準採血法ガイドラインを学ぶ、シミュレーターを使用した採血練習				
	2	血液検査の基本 - 2	到達目標:血液検査の基本である塗抹標本作成し、普通染色法を習得する。 学習内容:塗抹標本の作成、普通染色、染色性の観察、血球の鏡検とスケッチ				
	3	血球に関する検査 - 1	到達目標:血球算定法(白血球・赤血球)、ヘモグロビン濃度測定法を習得する。 学習内容:用手用にて血球算定(白血球・赤血球)、ヘモグロビン濃度測定法				
	4	血球に関する検査 - 2	到達目標:血球算定法(血小板)、ヘマトクリット値測定法、赤血球沈降速度測定法を習得する。 学習内容:用手用にて血球算定(血小板)、ヘマトクリット値測定、赤血球沈降速度測定				
	5	血球に関する検査 - 3	到達目標:赤血球浸透圧抵抗試験をを習得する。 学習内容:赤血球浸透圧抵抗の測定				
	6	形態に関する検査 - 1	到達目標:塗抹標本を作成し、普通染色をした後、白血球の分類を習得する。 学習内容:塗抹標本の作成、普通染色、白血球分類を白血球像分類計算機を使い練習				
	7	形態に関する検査 - 2	到達目標:塗抹標本を作成し、特殊染色法(ペルオキシダーゼ染色法)習得する。 学習内容:塗抹標本の作成、特殊染色法(ペルオキシダーゼ染色法)、染色性を観察、血球の鏡検とスケッチ				
	8	形態に関する検査 - 3	到達目標:塗抹標本を作成し、特殊染色法(特異的・非特異的エステラーゼ法)習得する。 学習内容:塗抹標本の作成、特殊染色法(特異的・非特異的エステラーゼ法)、染色性を観察、血球の鏡検とスケッチ				
	9	血小板・凝固・線溶検査 - 1	到達目標:血管機能検査法、血小板機能検査法を習得する。 学習内容:出血時間、毛細血管抵抗試験、血小板機能検査				
	10	血小板・凝固・線溶検査 - 2	到達目標:凝固検査法を習得する。 学習内容:用手法と機器法にてトロンビン時間、部分トロンボプラスチン時間				
	11	血小板・凝固・線溶検査 - 3	到達目標:線溶検査法、凝固・線溶阻止物質の測定法を習得する。 学習内容:フィブリン/フィブリノゲン分解物質、Dダイマー、アンチトロンビンの測定				
	12	顕微鏡観察 - 1	到達目標:様々な疾患の血液塗抹標本を観察し、形態異常の赤血球を理解し、疾患との関連について学修する。 学習内容:形態異常である赤血球の鏡検とスケッチ				
	13	顕微鏡観察 - 2	到達目標:様々な疾患の血液塗抹標本を観察し、形態異常の白血球・血小板を理解し、疾患との関連について学修する。 学習内容:形態異常である白血球・血小板の鏡検とスケッチ				
	14	顕微鏡観察 - 3	到達目標:正常な骨髓塗抹標本を観察して、それぞれの血球の成熟分化を理解する。 学習内容:骨髓塗抹標本を観察し、鏡検と3種の血球の成熟分化段階をスケッチ				
	15	顕微鏡観察 - 4	到達目標:様々な疾患の骨髓塗抹標本を観察して、形態異常と疾患の関連を理解する。 学習内容:疾患に特徴的な骨髓塗抹標本の細胞の鏡検とスケッチ				
成績評価の方法・基準	レポート (100%)(対面・オンライン共通)						
教科書	最新 臨床検査学講座「血液検査学」 血液細胞症例集		奈良信雄、他 著 監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		医歯薬出版 丸善出版		
参考図書	血液検査技術教本		監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		丸善出版		
教員からのメッセージ	各授業でレポートの提出を課します。レポートは授業後にコメントを付して返却します(グーグルクラスルーム使用)。昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 医療提供施設で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						